

急性膵炎

1. 急性膵炎とは

急性膵炎は膵臓に急激に炎症が起こり、激しい腹痛が生じる病気です。急性膵炎の中には、膵臓が腫れるだけで容易に回復する比較的軽症のものから、膵臓や周囲に出血や壊死を起こし、急激に死に至る重症例まで様々です。このうち、重症急性膵炎では膵臓だけではなく、肺、腎臓、肝臓、消化管などの重要臓器にも障害を起こしたり（多臓器不全）、重篤な感染症を合併し、9%の方が亡くなられる重い病気で、「難病」に指定されています。

2. 急性膵炎はどのくらいいるのですか？

急性膵炎の患者さんは年々増加し、2003年1年間に急性膵炎で診療を受けた患者さんが35,300人で、このうち約5,100人が重症急性膵炎であったと推定されています。

3. 急性膵炎はどのような人に多いのですか？

急性膵炎は男性が女性の約2倍で、男性に多い病気です。幼児から高齢者まであらゆる年齢で発症しますが、男性は50歳台が、女性は70歳台が最も多く発症しています。重症急性膵炎で亡くなられた方は30歳未満では0%で、40歳以下では6%程度でしたが、70歳以上では14%であり、加齢と共に死亡される割合が高くなっています。

4. 急性膵炎の原因は？

2003年の急性膵炎全国調査では、急性膵炎の原因としては飲酒によるものが37.3%で最も多く、2位が胆石によるもので23.8%、3位が原因を特定できないもの（特発性）で22.6%です。男性ではアルコール性が最も多く50%を占め、女性では特発性が最も多く35%です。飲酒や胆石などに他の因子が加わって、本来消化管でたんぱく質を消化する消化酵素が、膵臓の中で活性化され、膵臓自体を消化し始めると（自己消化）急性膵炎が発症します。

極稀ですが消化酵素の遺伝子異常により発症する急性膵炎があります。たんぱく質を分解する消化酵素の一つであるトリプシンの遺伝子に異常があると、膵臓の中で活性化されたトリプシンがたんぱく分解酵素としての長時間働き、

膵臓自体を消化するようになり（自己消化）、急性膵炎が発症します。

5. 急性膵炎の症状は？

急性膵炎の最初の症状として最も多いのは、持続的で激しい上腹部痛で 93.2% に認めています。しかし、稀ではありますが急性膵炎でも腹痛を訴えない無痛性急性膵炎もあります。急性膵炎の最初の症状として嘔気・嘔吐（22.2%）、背部痛（13.9%）、食思不振（6.0%）、発熱（5.7%）、腹部膨満感（4.2%）なども見られています。

膵臓は、胃の裏側で背中側にはりつくように存在しますので、急性膵炎の時には上腹部痛に加えて、背中痛みを生じることも多くあります。痛みが強い時には、上を向いて寝ると腫大した膵臓が脊椎に圧迫されて痛みが強くなりますが、膝を抱くように体を丸くしますと膵臓が脊椎に圧迫されなくなり痛みが楽になります。何時間もムカムカしたり、吐いたりすることがありますが、吐いても腹痛はよくなりません。

6. 急性膵炎の治療法は？

一般的な急性膵炎の治療として、まず膵臓を安静に保つため食事や水分の摂取は禁じ、血圧と循環状態を正常に保てるように大量の点滴輸液を行い、膵臓内での消化酵素（たんぱく分解酵素）の作用（自己消化など）を阻止するために、たんぱく分解酵素阻害薬を投与します。さらに、感染症を予防するために抗菌薬も投与します。

重症急性膵炎では、循環管理や呼吸管理などの集中治療が必要です。

1) 蛋白分解酵素阻害薬・抗菌薬持続動注治療

膵の壊死が広い範囲に及んだ場合には、静脈から投与した薬剤が膵臓の壊死部に到達しません。動注治療は、膵壊死部に高濃度の蛋白分解酵素阻害薬と抗菌薬が到達するように、壊死部位へ流入する動脈にカテーテルを留置して、蛋白分解酵素阻害薬と抗菌薬を持続的に投与する治療法です。この治療は、重症急性膵炎の患者さんが適応です。急性膵炎の早い時期では膵臓に炎症が起きていますが、3~5日以降になりますと、膵臓以外の臓器（肝臓、肺、腎臓など）に炎症が広がっていきます。このような状態になってから動注治療を開始してもあまり効果はありませんので、急性膵炎が発症してから3日以内（48時間以内が最も望ましい）の患者さんが対象となります。

2) 持続的血液濾過透析

慢性腎不全の患者さんに行われている血液透析と類似の治療方法です。血液浄化療法は、血液中の有害物質を除去したり、過剰な水分を濾過して腎臓の働きを補助します。

3) その他の治療

膵臓の壊死部に細菌感染がおり化膿した場合には、体外から化膿部位へチューブを入れて、膿を体外へ誘導したり（ドレナージ術）、手術をして膵臓の壊死感染部分を除去することもあります。胆石が膵臓の出口を塞いで膵炎が悪化したり、黄疸が進行する場合には内視鏡で、胆石が排出されやすくなるような手術を行います。

7. 急性膵炎はどのような経過をたどるのですか？

急性膵炎全体では約 3%、重症急性膵炎の重症 度で 4%、最重症では 60%、重症膵炎全体では 9%の方が治療の効果がなく亡くなります。救命できた患者さんはほとんどが 6 ヶ月以内に退院されます。